

2014年度第3回（第16回）

プロセス化学東四国フォーラムセミナー

1. 「化学工場における化学工学の役割」
外輪健一郎 先生（幹事：徳島大学院・ソリオテクノサイエンス）
2. 「医薬品の製造プロセスの開発 ～ FT0 (Freedom to Operate) を重視した製造方法の確立」
高橋和彦 先生（大日本住友製薬・プロセス化学研究所）

日時：2015年1月10日（土）14時～16時15分

場所：徳島大学工業会館メモリアルホール（常三島キャンパス）

<http://www.tokushima-u.ac.jp/campusmap/josanjima/>



「日本プロセス化学会東四国フォーラム」第16回（本年度第3回）セミナーを開催いたします。多くの大学院生、学部学生ならびに企業の研究者のご来聴を歓迎します。講演会の後、講師の先生とフォーラム幹事を交えた懇親会（16時30分～18時：多目的室、一般1000円、学生500円）を行ないます。奮ってご参加下さい。

連絡先：宍戸宏造（代表幹事：徳島大学名誉教授・客員教授）

E-Mail: kshishido@tokushima-u.ac.jp

幹事：安芸晋治（大塚製薬）、石川文博（伏見製薬所）、小池晴夫（元 塩野義製薬）、
笹岡三千雄（ラベニール 3000）、外輪健一郎（徳島大学）、角田鉄人（徳島文理大学）、
難波康祐（徳島大学）、増井義之（シオノギファーマケミカル）、南川典昭（徳島大学）、
三好徳和（徳島大学）